

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年8月10日
【四半期会計期間】	第65期第1四半期（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）
【会社名】	株式会社サンゲツ
【英訳名】	Sangetsu Corporation （旧英訳名 SANGETSU CO., LTD.） （注）平成28年6月23日開催の第64回定時株主総会の決議により、平成28年6月23日付で英文社名を上記のとおり変更いたしました。
【代表者の役職氏名】	代表取締役 社長執行役員 安田 正 介
【本店の所在の場所】	名古屋市西区幅下一丁目4番1号
【電話番号】	052（564）3333
【事務連絡者氏名】	財務経理部長 助川 達 夫
【最寄りの連絡場所】	名古屋市西区幅下一丁目4番1号
【電話番号】	052（564）3333
【事務連絡者氏名】	財務経理部長 助川 達 夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 第1四半期 連結累計期間	第65期 第1四半期 連結累計期間	第64期
会計期間	自平成27年4月1日 至平成27年6月30日	自平成28年4月1日 至平成28年6月30日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
売上高 (百万円)	31,774	32,549	133,972
経常利益 (百万円)	2,320	2,292	9,463
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	1,601	1,815	6,393
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,821	1,318	3,104
純資産額 (百万円)	117,467	106,854	108,517
総資産額 (百万円)	139,494	138,490	139,220
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	22.08	26.79	89.92
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	26.76	89.81
自己資本比率 (%)	84.2	77.1	77.9

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第64期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動は以下のとおりであります。

##### <インテリア事業>

平成28年4月26日付で中国(上海)において、山月堂(上海)装飾有限公司を設立いたしました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調が見られたものの、世界経済の減速懸念や情勢不安など景気全体の先行きは依然として不透明な状況が続いています。当社事業に関連の深い住宅市場においても、新設住宅着工戸数が本年1月から5ヶ月連続で前年比プラスとなりましたが、6月はマイナスに転じるなど予断を許さない状況です。

このような状況のもと、当社グループでは2014年6月に発表した“中期経営計画(2014-2016)Next Stage Plan G”を着実に実行して参りましたが、本年最終年度は、次世代の成長の仕込みとして、物流拠点の新設や、基幹システムの再構築及び新物流システムの導入に向けた準備を進めています。また、本年4月には新しいブランド理念“Joy of Design”を発表。全てのステイクホルダーへの浸透を進め、空間づくりにおけるインテリアのトータルデザインをサポートする企業としての認知を高めて参ります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高32,549百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益2,041百万円(同7.2%減)、経常利益2,292百万円(同1.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,815百万円(同13.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (インテリア事業)

壁装事業では、高付加価値商品を掲載した主力見本帳「リザーブ」を5月に発刊。「ベットとともに暮らす」や「子どもと一緒に遊ぶ」など5つのコンセプトに基づいたコーディネートレシピを提案し、消費者がご自身の嗜好を明確にし選定しやすい工夫が好評を得ました。この結果、壁装材の売上高は13,691百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

床材事業では、非住宅分野におけるインバウンドを追い風とした商業施設や宿泊施設の改装需要獲得に努めました。また一般住宅向けには、豊富なカラーバリエーションとDIYの要素やデザイン提案を盛り込んだカーペットタイル見本帳「スタイルキット」を発刊し、新たな市場開拓に努めました。これらの結果、床材の売上高は9,801百万円(同3.1%増)となりました。

ファブリック事業では、トレンドセミナーを開催するなど昨年発刊した「ACカーテンファブリックス」や「サンウイック」の販促を強化しましたが、カーテンと椅子生地をあわせたファブリックの売上高は1,803百万円(同1.4%減)となりました。

これらの他、施工代などを含むその他の売上2,449百万円(同5.8%増)を加え、インテリア事業における売上高は27,745百万円(同1.7%増)、営業利益は1,902百万円(同15.2%減)となりました。

#### (エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンにおいては、住宅市況は回復基調となりましたが、他社との競争は益々激化しています。そのようななか、営業体制の再構築と工事力の強化、また関東地区での伸長により、エクステリア事業における売上高は3,736百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は110百万円(同93.7%増)となりました。

#### (照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社においては、昨年から専門特化したソリューション営業を継続したことで宿泊施設や公共施設での受注が拡大しました。この結果、売上高は1,073百万円(前年同期比28.4%増)、営業利益は28百万円(前年同期は営業損失96百万円)となりました。

#### (2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費は、31百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	290,000,000
計	290,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成28年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	68,570,000	68,570,000	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	68,570,000	68,570,000		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高 (百万円)
平成28年6月3日 (注)	600	68,570	-	13,616	-	20,005

(注) 平成28年5月16日開催の取締役会決議における、自己株式の消却による減少であります。

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成28年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成28年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 863,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 68,274,100	682,741	
単元未満株式	普通株式 32,800		
発行済株式総数	69,170,000		
総株主の議決権		682,741	

(注) 1. 「完全議決権株式(自己株式等)」は、全て当社所有の自己株式であります。

2. 平成28年5月16日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期会計期間において自己株式600,000株の消却を行ったことにより、当第1四半期会計期間末(平成28年6月30日)の発行済株式総数は68,570,000株となっております。

## 【自己株式等】

平成28年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンゲツ	名古屋市西区幅下一丁目4番1号	863,100	-	863,100	1.24
計		863,100	-	863,100	1.24

(注) 平成28年2月4日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期会計期間において自己株式638,900株を取得しております。また、平成28年5月16日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期会計期間において自己株式600,000株の消却を行っております。さらに、新株予約権の行使により自己株式が9,500株減少しました。

これらにより、当第1四半期会計期間末(平成28年6月30日)の自己株式数は、単元未満株式の取得分と合わせて892,600株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合1.30%)となっております。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査人は次のとおり交代しております。

第64期連結会計年度 有限責任監査法人トーマツ

第65期第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間 PwCあらた有限責任監査法人

また、PwCあらた監査法人は、監査法人の種類の変更により、平成28年7月1日をもってPwCあらた有限責任監査法人となっております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	29,802	26,466
受取手形及び売掛金	38,461	36,177
電子記録債権	7,113	8,098
有価証券	300	3,300
商品及び製品	10,165	11,067
仕掛品	146	57
原材料及び貯蔵品	1,403	1,582
その他	1,673	1,348
貸倒引当金	239	275
流動資産合計	88,825	87,823
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
土地	19,354	19,494
その他(純額)	11,649	12,725
有形固定資産合計	31,003	32,220
<b>無形固定資産</b>		
その他	1,295	1,569
無形固定資産合計	1,295	1,569
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	12,489	11,131
その他	5,877	5,964
貸倒引当金	271	220
投資その他の資産合計	18,095	16,876
固定資産合計	50,395	50,666
資産合計	139,220	138,490



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,200	11,681
電子記録債務	3,769	7,518
未払法人税等	1,794	583
賞与引当金	1,450	870
資産除去債務	222	223
その他	3,278	3,414
流動負債合計	22,716	24,292
固定負債		
役員退職慰労引当金	94	91
退職給付に係る負債	6,816	5,916
資産除去債務	447	448
長期未払金	0	257
その他	627	630
固定負債合計	7,986	7,344
負債合計	30,702	31,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	76,185	75,083
自己株式	1,748	1,796
株主資本合計	108,058	106,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,909	2,123
為替換算調整勘定	237	240
退職給付に係る調整累計額	2,268	1,976
その他の包括利益累計額合計	402	93
新株予約権	55	39
純資産合計	108,517	106,854
負債純資産合計	139,220	138,490

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	31,774	32,549
売上原価	22,577	22,842
売上総利益	9,197	9,707
販売費及び一般管理費	6,997	7,665
営業利益	2,199	2,041
営業外収益		
受取利息	7	1
受取配当金	63	67
不動産賃貸料	22	21
持分法による投資利益	-	100
その他	41	72
営業外収益合計	134	263
営業外費用		
支払利息	0	0
手形売却損	0	0
自己株式取得費用	8	7
その他	4	3
営業外費用合計	14	12
経常利益	2,320	2,292
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	1	-
退職給付制度終了益	-	108
その他	0	-
特別利益合計	2	108
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	22	2
特別損失合計	22	2
税金等調整前四半期純利益	2,300	2,399
法人税、住民税及び事業税	476	463
法人税等調整額	222	120
法人税等合計	699	584
四半期純利益	1,601	1,815
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,601	1,815

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,601	1,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	194	786
退職給付に係る調整額	26	283
持分法適用会社に対する持分相当額	-	6
その他の包括利益合計	220	496
四半期包括利益	1,821	1,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,821	1,318

【注記事項】

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
減価償却費	288百万円	530百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月18日 定時株主総会	普通株式	1,644	45.00	平成27年3月31日	平成27年6月19日	利益剰余金

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上表の1株当たり配当額は、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

2. 株主資本の金額の著しい変動

自己株式の取得と消却

当社は、平成27年2月12日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式643,300株を1,212百万円で取得しました。また、平成27年5月12日開催の取締役会決議に基づき、平成27年5月29日に自己株式1,600,000株を消却しました。さらに、平成27年6月10日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式140,700株を256百万円で取得しました。主にこれらの影響により、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は211,462株、375百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月23日 定時株主総会	普通株式	1,707	25.00	平成28年3月31日	平成28年6月24日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

自己株式の取得と消却

当社は、平成28年2月4日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式638,900株を1,274百万円で取得しました。また、平成28年5月16日開催の取締役会決議に基づき、平成28年6月3日に自己株式600,000株を消却しました。主にこれらの影響により、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は892,633株、1,796百万円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリア 事業	照明器具事業	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	27,277	3,672	824	-	31,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	11	11	-
計	27,277	3,672	836	11	31,774
セグメント利益又は損失( )	2,242	57	96	2	2,199

(注)1.セグメント利益又は損失( )の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリア 事業	照明器具事業	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	27,745	3,736	1,067	-	32,549
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	6	6	-
計	27,745	3,736	1,073	6	32,549
セグメント利益	1,902	110	28	0	2,041

(注)1.セグメント利益の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	22円08銭	26円79銭
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 ( 百万円 )	1,601	1,815
普通株主に帰属しない金額 ( 百万円 )	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額 ( 百万円 )	1,601	1,815
普通株式の期中平均株式数 ( 千株 )	72,496	67,747
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	-	26円76銭
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 ( 百万円 )	-	-
普通株式増加数 ( 千株 )	-	72
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株 当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜 在株式で、前連結会計年度末から重要な変動が あったものの概要	平成27年 5 月12日取締役会 決議による新株予約権 ( 普通株式 822,700株 )	

( 注 ) 前第 1 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

( 自己株式の取得 )

当社は平成28年 7 月 8 日開催の取締役会において、会社法第165条第 3 項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式の取得に係る事項について決議しました。

1 . 自己株式の取得を行う理由

中期経営計画 ( 2014-2016 ) Next Stage Plan Gにおける資本政策に基づき、資本効率の向上と株主還元  
の拡大を図るため、自己株式の取得を行うものであります。

2 . 自己株式の取得の内容

- |               |  |
|---------------|--|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式   |
| (2) 取得する株式の総数 | 500,000株 ( 上限 )<br>( 平成28年 6 月30日時点の発行済株式総数 ( 自己株式を除く ) に対する<br>割合 0.73% ) |
| (3) 株式取得価額の総額 | 1,000百万円 ( 上限 )  |
| (4) 取得期間      | 平成28年 7 月11日から平成28年10月31日まで  |
| (5) 取得方法      | 証券会社の投資一任方式による買付   |

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 8月10日

株式会社サンゲツ  
取締役会 御中

### P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山中 鋭一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 西村 智洋 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンゲツの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンゲツ及び連結子会社の平成28年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### その他の事項

会社の平成28年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成27年8月5日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成28年6月23日付けで無限定適正意見を表明している。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。